

会 議 録

会議の名称	病院運営審議会		
開催日時	平成24年(2012年) 3月19日(月) 13時 30分～ 15時 30分		
開催場所	市立豊中病院 講堂(管理棟5階)	公開の可否	可・不可・一部不可
事務局	市立豊中病院 病院総務室	傍聴者数	0人
公開しなかった理由			
出席者	委員	小島真美、後藤真一、柴山教、末信武夫、高森勝子、多田耕三、福田弘、山本正一	
	事務局	管理者 小林栄、総長 清原久和、病院長 片桐修一、副院長 北田昌之、副院長兼看護部長 高嶋香奈子、医務局長 堂野 恵三、薬剤部長 栗谷良孝、事務局長 田居伸明、事務局理事 田中潤一、事務局次長 小森憲昭、地域医療室長 坂萩誠二、医療安全管理室長 水摩明美、医事課長 加嶋隆、医療安全管理室主幹 大塚靖男、病院総務室主幹 鈴木勉、病院総務室主幹 守屋浩一、病院総務室主幹 市来一弘、医事課主幹 富島庸好	
	その他		
議題	(1) 新たな病院運営計画について (2) その他		
審議等の概要 (主な発言要旨)	別紙のとおり		

病院運営審議会（審議等の概要）

●委員の出席状況と審議会成立の報告

全委員 9 人中 8 人出席、本審議会成立を報告

●議案審議

1 新たな病院運営計画について

事務局より資料に基づき報告

2 その他

●計画策定趣旨について事務局から報告

《質疑応答》

- 1、 4 ページ 基本目標について、「地域に開かれた急性期中核病院として、良質で安全な医療を提供します」としてはどうか。「急性期病院をめざす」ではなく、「良質で安全な医療を提供します」を最後に持ってきたほうがいいのではないか。

→ 提案どおりに文言を改めることとする。

- 2、 10 ページ (1) 救急医療について「断らない救急」という文言が前回同様使われているが、「お断り件数ゼロの実現に努めます」としてはどうか。

→ 実態としては困難であるが、キャッチコピーとして「お断り件数ゼロ」という文言を入れることとする。

- 3、 10 ページ (3) ③急性心筋梗塞の緊急検査への対応について、具体的な検査を記載しておいたほうがいいのではないか。

→ 具体的に記載することとする。

- 4、 10 ページ (4) ②「清潔保持」とあるが、主には感染症の予防対策であるので、削除したほうがいいのではないか。また、4月の診療報酬改定で新設された感染防止対策加算 1・2 において地域での感染症予防が重要とされているので、地元の医師会だけでなく、近隣病院との連携を進めるといった文言を入れたほうがいいのではないか。

→ 提案を参考に文言を改めることとする。

- 5、 11ページ (1) ① 5行目を「特に女性医師増加の傾向にあることから、ワークライフバランスを考慮した長続きする働き方についての具体的検討をします」としてはどうか。
→ 「女性職員」を「女性医師」と変更し、提案を参考に文言を改めることとする。
- 6、 11ページ (1) ② 6行目、災害時の備蓄についての方針はどうなっているのか。
→ 水・食料についてはある程度病院で備蓄している。その他については市での備蓄となる。
- 7、 12ページ (2) ② 図書コーナーについてインターネット環境の整備等も含め、患者の利用促進に向けて検討していただきたい。
→ 図書コーナーの充実に向けた施策については、患者サービス向上委員会の中で24年度に具体的に検討していく。
- 8、 入院待ちの期間について、半年待ちという状況も以前はあったが、短縮できているのか。
→ 入院待ちは今現在全体で400人程度であり、減少傾向にある。この人数には予定入院も含まれている。
- 9、 12ページ (2) の項目の順番について、①接遇の向上において待ち時間対策は大きなウェイトを占めることであり、待ち時間も含めての院内環境整備・充実であるので、②待ち時間対策 ③院内環境の整備・充実としてはどうか。
→ 検討することとする。
- 10、 今回の診療報酬改定で金額はどのくらいのアップを見込んでいるのか。
→ 外科の手術点数・医師の業務軽減・救急などで2億5,000万程度の効果が出ると試算している。
- 11、 13ページ (3) ①地域における医療機関との連携において在宅医療について触れているが、パスでの連携には薬剤師のことも関わってくるので薬剤師会と連携といった文言を入れることはできるか。
→ 提案を参考に検討することとする。

12、4月の診療報酬改定で薬剤師の病棟配置が内容にあったが、市立豊中病院としての方向性はどのように考えているのか。

→ 患者満足度の向上、メディカルの安全の向上につながるものと思われるが、詳細が出てきた段階で検討していく予定である。

以上